

試験研究（事前）評価整理表

試験研究機関名 林業研究センター
 所管課(室) 農業振興課研究開発室

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	研究期間		評価結果	理由	外部評価アドバイザー意見
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	中山間地域の産業振興を支援するための総合的な技術開発	地域特産食用きのこの栽培技術の開発と優良品種選抜	中山間地域の振興に寄与するため、自然栽培用品種を選抜し、地域特産品となり得る食用きのこの栽培技術の開発を図るとともに、これまで開発した栽培施設を必要としない栽培技術を応用した栽培方法を開発する。	地域特産品目として期待される、一般には栽培されていない食用きのこ(キクラゲ、ホンシメジ等)の栽培技術を開発する。また、既存の栽培種についても野生菌株等の収集を行い、地域に適した自然栽培用品種の選抜を行う。	22	26	B	地域特産としての食用きのこの栽培技術、優良品種の開発は中山間地域の振興に寄与するものである。	地域特産作物の作出とその栽培技術の確立は、中山間地域の活性化に寄与するものと考え、開発した技術の普及のためには、さらに、産薬化と販路拡大等、施策的支援も考えていく必要がある。研究は秀逸な内容と感じられた。ただ、中山間地域の方々が高齢化していることを踏まえ、実際に産薬として根付くのかについても考慮しながら、研究を進めていただきたい。
2	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	中山間地域の産業振興を支援するための総合的な技術開発	キリ健全苗生産技術の開発	本県の重要な地域特産品の一つである会津桐の健全苗生産技術を開発する。	従来に分根法に代わり、ポット育苗などによる実生法を検討し、キリの健全苗生産技術を開発する。	22	26	B	会津地域に限定される内容ではあるが、今後の資源を確保するためには健全苗生産技術の開発は必要と認められる。	
3	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	農林水産物の高品質化と一層の省力・低コスト生産のための技術開発	会津産スギ材の特性把握と利活用技術の開発	これまで市場において低く評価されてきた会津産スギ材の素材の選別基準と利用技術を開発し、県産材の需要拡大に資する。	変色・腐朽等のある素材、製材品それぞれの段階での判定方法、強度特性を検討してその利用技術等を開発する。	22	26	A	今後伐採されるスギ材の需要拡大と安定供給を図るため、積極的に取り組むべきである。	